

射水市教育委員会 9月定例会会議録

開会日時 平成26年9月24日(水)

開会 午前11時05分

閉会 午後0時5分

会議場所 大門中学校会議室

出席委員

眞岸委員長、宮原委員、大代委員、織田委員、結城教育長

会議事件説明員

橋詰教育次長、亀田教育次長、尾山学校教育課長、島田生涯学習・スポーツ課長、
沢田教育センター所長、正橋給食センター所長、島崎中央図書館長、原田新湊博物館長、杉高
学校教育課主幹、高橋生涯学習・スポーツ課主幹、塩谷学校教育課長補佐

傍聴人数 なし

会議の要旨

午前11時5分、委員長が開会を宣した。

学校教育課長が、学校給食の異物混入に関して経過等報告した。

1 会議録の承認

承認された。

2 教育長の報告

(1) 平成26年9月議会開催状況について

教育長及び教育次長が資料1に基づき説明した。

3 議案

(1) 指定管理者の名称等の変更について

生涯学習・スポーツ課長が資料2に基づき説明し、可決された。

4 各課等の連絡事項及び報告事項

(1) 平成26年度 全国学力・学習状況調査における射水市の結果について

教育次長が資料3に基づき説明した。

(2) カニ学校給食の実施について

学校教育課長が資料4に基づき説明した。

(3) 指定管理者の募集について

生涯学習・スポーツ課長が資料5に基づき説明した。

(4) 「放生津八幡宮祭の曳山行事」富山県無形民俗文化財の指定について

生涯学習・スポーツ課長が資料6に基づき説明した。

(5) 富山マラソン2015イベント 射水海王丸マラソン2014の取組状況について
生涯学習・スポーツ課長が資料7に基づき説明した。

(6) 教育委員会行事予定
学校教育課長補佐が資料8に基づき説明した。

6 その他

(1) 次回教育委員会の開催日時について
日時・場所は、10月27日(月)午後1時30分から大門小学校訪問
3時から大門小学校会議室で会議

7 議事

(1) 平成26年度 全国学力・学習状況調査における射水市の結果について

[委員] 結果は残念だと思っている。これまで、いじめ、自殺防止の取り組みに力を入れていたこともあるが、自尊感情を高めるという意味でも勉強で落ちこぼれないということが大事であり、そういう指示をしてきている。また、学力テストの問題において、何が求められているかということを教員同士で学び合うことを指示してきたが、確実にできていたかをしっかり把握していなかったという点について責任を感じている。

校長会において、わかりやすい授業、子どもたちに楽しい授業を提供できるかを中心課題に据える。そういう形の研修を行う。また、落ちこぼれをなくすために、しっかり学習状況を把握し、つまづいているところを補充することについて、指示をしていく考えである。

[委員] 通級を受け持っている先生が常勤の体制でいる学校は何校あるのか。

[事務局] 中学校は2校兼務、小学校は3校兼務のところもある。

[委員] 通級に対する配置については、子どもたちの障がい等の状況にもよる。特別支援学級の設置も含め対応を判断している。それ以外に子どもたちの見守りなど学校をサポートすることで学習サポーターを配置している。勉強の落ちこぼれ対策というものとは少し異なる。

[委員] 通級に通っていた子が、成績が上がり、表情が良くなることもある。

[委員] 障がい等を克服する力をつけてもらうために通級があることから、自己肯定感が高まるということはあったと考える。

[委員] 特別支援級に入れたくないと思う保護者もいることから、通級は一つの足掛かりになると考える。常勤配置で対応できればもっと活用できるのではないか。検討課題の一つと思っている。

[委員] 子どもの中には、障がいを持つことで勉強がわからない、家庭の事情で勉強に集中できない、一生懸命しようと思っても理解がままならないといった様々な原因があることから、学校がそれぞれの子どもに応じた関わり方をしていくことが大事である。

[事務局] 学習サポーターについては、本年度33名、小学校を中心に配置している。

[委員] 学習サポーター等、子どもに対する支援が多く措置されているのは、子どもの状況からなのか、教員の状況からなのか。

[事務局] どちらも言えると思う。障がい等のある子どもたちが増えているのは文部科学省も認めている。

[委員] スマホ、ゲームの時間について、特に中学生は部活動があり、帰宅後、スマホ等の時間が長いと学習時間に影響すると思う。

午後0時5分、議事等が終了したので委員長が閉会を宣した。